

## 技術報告単行本出版の申し合わせ

この申し合わせは、(編修・規程 2)「出版規程」第 3 条 3 項および (部門共通・規程 1-2)「部門研究調査規程細目」第 8 条 1 項による技術報告単行本 (以下、単行本) を電気学会以外の出版社から出版するに当たっての具体的な事項を定めたものである。

1. 調査専門委員会の研究調査結果のうち、当該調査専門委員会が単行本としての市販を希望する場合は、以下の手続きを経て単行本を出版することができる。承認を得られなかった場合は、通常の技術報告として出版する。
2. 調査専門委員会は、調査期間終了までに、別紙の技術報告単行本出版企画書 (以下、企画書) を作成し、技術委員会、部門研究調査運営委員会および部門役員会に提出し、承認を得る。
3. 調査専門委員会は、単行本原稿を作成し、技術委員会、部門研究調査運営委員会および部門役員会に提出し、承認を得る。
4. 調査専門委員会は、企画書および単行本原稿により、出版を承諾する出版社を選定する。承諾が得られなかった場合は、通常の技術報告として出版する。出版社への提案は 1 社ずつ行い、同時に多数の他社出版社と交渉してはいけない。出版社への提案については事務局がサポートを行う。
5. 調査専門委員会と出版社とで契約内容に関する検討を行い、会長名で契約を行う。事務局はサポートを行う。
6. 出版社から支払われる印税 (著作権利用料) の配分は、学会 : 50%、執筆者全員 : 50% とする。学会に支払われる印税は発行後 2 年を経た年の年度末までは当該発行部門の収入とし、その後は本部収入とする。
7. 単行本の要旨を本学会誌に掲載する。
8. 単行本は執筆者に各 1 冊、当該委員会の所属する技術委員会委員長へ 1 冊、電気学会事務局へ 2 冊献本する。(執筆者以外への献本については出版社と交渉が必要。)
9. 会員には、会員特価にて頒布する。ただし、会員特価を設定できない場合はこの限りではない。
10. 技術報告単行本発行後に出版報告書を出版事業委員会に報告する。
11. 後継の調査専門委員会が単行本の改訂版の発行を希望する場合は、改訂版の企画書および単行本改訂原稿を作成し、改訂版に執筆しない原本の執筆者に改訂版発行の承諾をもらい、技術委員会および部門役員会の承認を得た後、既刊出版社と交渉し改訂版の出版契約を締結する。

(改廃等)

1. 平成 5 年 1 月 13 日、調査会議において承認。
2. 平成 9 年 10 月 1 日、理事会において一部改正。
3. 平成 10 年 8 月 1 日、理事会において一部改正。
4. 平成 11 年 11 月 26 日、調査会議において一部改正。
5. 平成 12 年 12 月 13 日、理事会において一部改正。

6. 平成 17 年 2 月 3 日、研究経営会議において一部改正。
7. 平成 19 年 4 月 10 日、研究経営会議において一部改正。
8. 平成 25 年 10 月 29 日、研究調査会議にて一部改正。
9. 平成 28 年 2 月 15 日、研究調査会議にて一部改正。
10. 平成 29 年 2 月 2 日、研究調査会議にて一部改正。
11. 平成 30 年 2 月 1 日、研究調査会議にて一部改正。
12. 令和元年 10 月 29 日、研究調査会議にて一部改正。
13. 令和 5 年 2 月 3 日、研究調査会議にて一部改正。

## 技術報告単行本出版企画書

委員会名	
委員長名	
所属部門 (○をつける)	A : 基礎・材料・共通部門    B : 電力・エネルギー C : 電子・情報・システム    D : 産業応用    E : センサ・マイクロマシン
所属技術委員会名	
書 名 (できるだけ分かりやすく簡潔なものとする)	
発行予定日	年    月頃
企画図書の 趣旨・内容概要 (誰の何に役立つのかを具体的に記述する。出版社はここを重視します。)	

<p>目次案概要 (従来の技術報告然とした目次では訴求力が無いので注意。詳細な目次は別紙に記述のこと。)</p>				
<p>類書のデータ (題名・著者・発行年・出版社等) ※存在する場合</p>				
<p>想定する主たる対象読者と専門分野 (対象読者の選定はできるだけ具体的に。出版社はここを重視します。「大学生」・「技術者」等漠然としたものは不可)</p>	<p>例 企業・研究所で〇〇〇〇を研究している中堅からベテラン研究員 大学院・学部で〇〇〇〇を専攻していて基礎知識のある学生</p>			
<p>判型・予定頁数</p>	<p>判</p>	<p>ページ</p>	<p>予想販売部数</p>	<p>冊</p>
<p>この企画書についての連絡先(担当者)</p>				

※書ききれない場合は2ページ以上になっても結構です。



技術報告単行本出版企画書(原稿の状況等)

(この原稿の状況等は部門の技術委員会、部門研究調査運営委員会、部門役員会で原稿を審議する際に作成し、既に承認された出版企画書とともに提出してください。)

原稿テキストのデータ形式:

原稿の図表・写真のデータ形式:

必要な転載図表・写真の転載許諾は得ているか:

(改訂版の場合、改訂版に参加しない原著者の出版の承諾は得ているか: )

希望する発行年月:

刷り上がり予定ページ数 (A5判 / B5判 として) ←どちらかに○:

希望発行部数:

希望寄贈部数 (著者を含む):

希望価格帯 (消費税含む):

希望定価 (消費税含む):

希望印税率(著作件利用料) : % (通常は8~10%程度)

希望印税率での収入予想額

※上記には委員会等の希望を記入してください。最終的には定価・発行部数・印税率などは委託出版社で決定されます。

## 出版事業委員会への報告事項(出版後に報告)

No.	事 項	記入欄
1	書名	
2	著者名(委員会名と著者)	
3	判型	
4	ページ数	
5	発行年月日	
6	本体価格	
7	税込価格	
8	会員本体価格	
9	会員税込価格	
10	ISBN	
11	内容/目次概要	
12	印税率	
13	印税率配分	
14	電子書籍の有無	
15	オンデマンドまたは 発行時冊子製作の別	
16	印刷部数	
17	販売方法(書店・Web 書店・ 電子図書館)	
18	契約した出版社	
19	出版社との契約内容 (契約書提出で代用可)	
20	その他連絡事項	